



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和 8年 4月 1日

企業・団体名 株式会社 斉藤組

代表者名 代表取締役社長 斉藤 武幸

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 7年 4月 1日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 「14歳の挑戦」の積極的な受け入れ 【実施状況】 令和7年は、6月30日から7月4日までの5日間、地元の井波中学校の生徒2名を受け入れ、職場体験を実施した。職場体験に加え、毎年開催している安全大会にも参加してもらい、地元消防署と連携した消火器訓練および人命救助訓練を実施した。これにより、建設業に関する理解促進だけでなく、実践的な安全意識や生きるための知識の習得に寄与した。 また、南砺市および富山国際大学が実施する「地域づくり実習」に参画し、地域の子どもたちや県内の学生に対して建設業への理解を深める機会を提供した。
2	【目標】 物品購入・調整における省資源、省エネ、安全等環境への配慮 【実施状況】 物品購入の際は、引き続き事前に環境配慮物品（グリーン購入対象物品等）の有無を確認の上、対象物品を優先的に購入。 現場や事務所で排出された鉄くずやアルミ缶などは分別リサイクル業者へ持込。（令和7年度は鉄くず1,440kg、アルミ缶8kgを持込。）
3	【目標】 ICT技術を活用した災害対策のための技術向上 【実施状況】 若手技術者の育成のため、補助金なども利用しながら講習会を実施。 現場作業でもICT施工を積極的に実践で使用。作業効率も向上し生産性の向上に繋がった。 近年は大雨による豪雨災害や地震による土砂崩れなどの災害復旧工事の施工も増えており、今後さらに技術力を高め、ICT施工を様々な場面で取り入れていきたい。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。